

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7 年 4 月 1 日

事業所名 児童発達支援センター こだま

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	0	各クラスと調整しながら共用スペースを使用している。	今後も継続していく。
	2	職員の配置数は適切であるか（基準4:1）	11	0	配置数は適切であるが、職員の業務遂行に余裕を持たせるため、パート職員の配置が必要である。	今後も継続していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	0	パーテーションで構造化された環境を造っている。またスペース間の段差がなく、視覚で理解できる環境を造っている。	今後も継続していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	2	清掃を入念に行い、課題を行う療育室、自由遊びの体育室など、活動に合わせている。	整理整頓ができないときや、掃除が行き届いていない時があるため、留意していく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか（会議などでの提案と実施など）	9	2	会議において、業務改善について提案し、実施している。	行事以外の業務改善も行っていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11	0	保護者からの事業所評価を実施し、意向把握、業務改善に努めている。	今後も継続していく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	2	評価結果について、事業所に掲示している。	本部において、ホームページリニューアルに着手予定である。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか（第三者委員会の開催）	9	1	第三者委員会を開催し、業務改善に資している。	第三者委員の施設見学を行いたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	2	法人研修、職場研修を実施している。	職員の資質を上げる研修を確保していく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	11	0	適切なアセスメントに基づき計画を作成している。	今後も継続していく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	1	PEP-R、PEP-3など参考にしている。	職員交代により、ツールの使う技術力低下を防いでいく必要がある。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	0	ガイドラインに沿って、必要事項を選択し、具体的計画を立てている。	今後も継続していく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	0	計画に沿った支援を実施している。	今後も継続していく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	1	クラスごとに協議し立案している。	今後も継続していく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	1	プログラムを蓄積し、更新している。	今後も継続していく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	11	0	組み合わせて支援計画を立案している。	今後も継続していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	1	クラスごとに日々確認している。	今後も継続していく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	1	クラスごとに打ち合わせを行っている。	満遍なく行われていないことがあるため、改善していく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	2	記録し、検証・改善を行っている。	業務全般において、記録の見落としがないようにしていく必要がある。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11	0	定期的に、児発管、担当職員で検討している。	今後も継続していく。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	1	担当職員が参画している。	今後も継続していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	11	0	行政機関等との連携を密に行ってい	今後も継続していく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	4	サポートブックを作成し、面談で引継ぎを行っている。	実態として移行した子どもがいないが、発生すれば適切に対応する。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	0	サポートブックを作成し、面談で引継ぎを行っている。	今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1	定期的に医師、OTやSTなどを派遣していただき、助言・研修を受けている。	今後も継続していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	3	交流保育などで職員との情報交換を行っている。	交流の機会を模索する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	6	現状、あまり参加していない。	参加の機会を模索する。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1	保護者面談を年5回行うとともに、見学会または必要に応じて保護者と情報交換している。	配慮の必要な保護者への対応に気を配っていく。
関係機関や保護者との連携	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	9	0	家族支援プログラムを実施している。	ペアトレの内容についてニーズに沿った内容を検討する。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	利用契約時時に説明している。	今後も継続していく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	0	ガイドラインに沿った支援計画を立案し、保護者に対して、説明し、同意を得ている。	今後も継続していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11	0	保護者面談や随時必要に応じて、保護者からの相談を受けている。	今後も継続していく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11	0	保護者会開催の便宜を図り、協力している。	今後も継続していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	0	随時相談、申し入れを受け付け、迅速に対応している。	今後も継続していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0	毎月、「園だより」を発行し、活動等の情報を発信している。	更に充実を図っていく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	11	0	法人規則に則り、適切に対応している。	今後も継続していく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	0	個々の状況に応じ、対応している。	今後も継続していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	7	現状、立地などにより、地域交流が希薄である。	交流の機会を模索する。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	11	0	マニュアルを作成し職員に周知、訓練を行い、必要に応じ保護者に周知している。	今後も継続していく。
	42	業務継続計画(BPO)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	0	定期的に訓練を行っている。	今後も継続していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	11	0	関係機関、保護者から情報を得、確認している。	今後も継続していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	1	関係機関、保護者から情報を得、対応している。	今後も継続していく。
	45	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置が講じられる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	発生ごとに事業所内で共有している。	今後も継続していく。
	46	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族へ周知しているか。	11	0	今年度から安全計画を策定したが、充実を図っていく。	今後も継続していく。
	47	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	4	発生ごとに事業所内で共有している。	ヒヤリハット発生、記録をさらに充実させていく。
	48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	0	研修の機会を確保し、適切に対応している。	今後も継続していく。
	49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9	2	必要に応じて適切に対応している。	必要な園児については、実施の手続きを厳守する。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。